

若桜鬼ヶ城の紹介

江戸時代、若桜街道随一の宿場町として栄えた若桜宿は城下町でもありました。若桜鬼ヶ城跡が築かれた鶴尾山(つるのおやま・標高452m)は播磨・但馬国へと通ずる街道の結節点に位置しており、因幡地方にとっては重要な拠点でした。築城期は不明ですが、中世期に矢部氏によって築かれたと考えられています。戦国期は尼子・毛利・織田などの各有力大名が重要拠点であったこの地を巡って、激しい攻防を繰り広げ、羽柴秀吉による因幡平定後は木下氏・山崎氏と城主が代わりました。その後池田光政が鳥取城に入ると、一国一城令によって廃城となりました。

若桜鬼ヶ城跡は山腹の遺構と山頂遺構に大別されます。山腹の遺構は竪堀と堀切が南北の尾根沿いに造られ、小規模な曲輪群を形成しています。一方、山頂遺構は木下・山崎両氏の時代に整備がされ、天守台を備えた本丸を中心として、北側に二段、南側と西側に各一段ずつ総石垣の曲輪が築かれ、複雑な構造をしています。また、石垣は廃城の際、意図的に崩した状態で残されており、一国一城令による破城の歴史を物語っています。

このように戦国期から近世初期にかけての山陰地方の国人領主の動向と、同時期の城郭変遷を知るうえでの重要性が認められ、平成20年3月、国の史跡に指定されました。また、平成29年4月には、公益財団法人日本城郭協会から「続日本100名城」に認定されました。



若桜鬼ヶ城御城印
(若桜町観光協会・観光案内所で販売)

◆ 交通アクセス ◆

○若桜まで

自動車 【中国道山崎ICから】
国道29号を鳥取方面へ約90分
【鳥取道河原ICから】
河原インター線・国道29号を
戸倉峠方面へ約30分

鉄道 鳥取駅より若桜鉄道若桜行で終点若桜駅下車(約45分)

路線バス 鳥取駅より若桜行で若桜駅前下車(約60分)

高速バス 若桜経由鳥取行で若桜下車(約3時間)

○若桜から山頂まで

(ルート図は中面のマップをご確認ください)

自動車 若桜駅から山頂馬場駐車場まで約15分
馬場から山頂までは徒歩15分

徒歩 若桜駅から八幡広場もしくは第1町民体育館裏登山口より山頂まで約60分
※山頂までのバス、タクシー利用はできません。
※観光バスで来城予定の場合は、バスのサイズにより通行できない箇所がありますので、事前にお問い合わせください。

廃城後の鬼ヶ城を描いた絵図



出典:因伯古城跡図志(部分、鳥取県立博物館所蔵)

お問い合わせ先

◆ 若桜町教育委員会 ◆

〒680-0701
鳥取県八頭郡若桜町大字若桜757番地
TEL:0858-82-2213
FAX:0858-82-1045
E-mail kyouiku@town.wakasa.tottori.jp
URL <http://www.town.wakasa.tottori.jp>

続日本100名城認定

国指定史跡

若桜鬼ヶ城跡

わか

さ

おに

が

じょう

あと

年号

できごと

正治2(1200)	1月	矢部小次郎、梶原景時を討ち、その功で因幡へ入部。(若桜に居城を構えたかは不明)
応仁元(1467)	5月	応仁の乱、はじまる。
延徳元(1489)	11月	山名政実、矢部山城守と「矢部館若狭(桜)」で自刃。「館」と表記されており、若桜鬼ヶ城を指すかは不明。
天正3(1575)	6月	山中鹿介、若桜城主(矢部氏か)を生け捕る
	8月	草刈景継、鬼ヶ城の尼子党7人を討つ
	10月	吉川元春、宇喜多氏の動きが不穏のため、鬼ヶ城に付城を築き、急遽帰陣。
天正4(1576)	5月	尼子党が鬼ヶ城より退去。城は毛利氏が支配。
天正8(1580)	5月	羽柴秀吉、鬼ヶ城を攻撃し、毛利氏任番は鳥取城へ逃げ込む。
	6月	八木豊信が城主となる。
天正9(1581)	10月	吉川経家、自刃し鳥取城陥落。
	11月	木下重堅が城主となる。八木豊信は木下配下へ降格。
天正10(1582)	6月	本能寺の変
天正18(1590)	7月	豊臣秀吉、奥州を平定し天下統一。
慶長5(1600)	11月	木下重堅、関ヶ原の戦いに敗れ、自刃。
慶長6(1601)	4月	山崎家盛が城主となる。
慶長8(1603)	2月	徳川家康、江戸幕府を開く
元和元(1615)	5月	大坂夏の陣で豊臣氏滅亡。7月幕府は一国一城令を發布する。
元和(1617)	6月	池田光政が因幡・伯耆二国の領主となり、山崎家治(家盛の子)は備中成羽へ転封。鬼ヶ城は破却か。
昭和53(1978)	1月	若桜町指定史跡となる。
平成7(1994)	4月	鳥取県指定史跡となる。
平成20(2008)	3月	国指定史跡となる。
平成29(2017)	4月	続日本100名城に認定される。

若桜鬼ヶ城跡から出土した遺物

昭和63年度から平成2年度にかけて行われた調査によって様々な種類の遺物が発見されました。瓦の一部は若桜郷土文化の里(内側マップ参照)に展示しています。

瓦類

完存したものは少ないですが、丸瓦・平瓦・鯉瓦ともに多数出土しています。



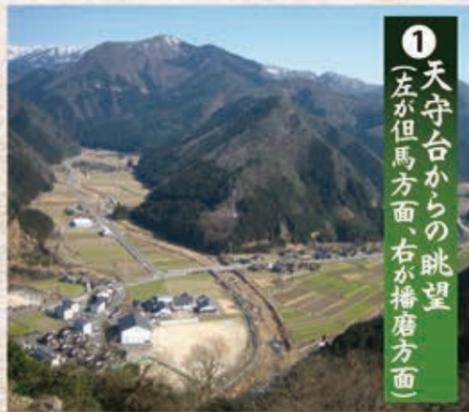
陶磁器類

天目茶碗や染付、土器などが多く出土し山頂で生活していた様子がうかがえます。



若桜鬼ヶ城跡

散策マップ



① 天守台からの眺望
(左が但馬方面、右が播磨方面)



② 三ノ丸虎口の様子



③ 六角石垣



三ノ丸からの眺望

【登城の際の注意点】

- 登山道は一部勾配の急な箇所や段差の大きな箇所がございます。靴や装備品、健康状態に留意して登城ください。
- クマやシカなど野生の鳥獣にご注意ください。
- 城跡内にはトイレがございません。あらかじめトイレを済ませて登城ください。
- 冬期は積雪で登城できません。4月以降も雪がある場合がありますので、登城の際は事前にご確認ください。
- 鳥獣対策のため、電気柵を設置しています。※昼間は通電していません。中に入る場合はフック(ト)を開けて入城してください。

(公衆トイレ設置箇所) 若桜駅、休憩交流処かりや、かりや横町、若桜民芸館、第1町民体育館横、第2町民体育館横

